

# 教えて！Office先生

## No.154 【Excel】条件付きの書式設定を行う方法

### ■ 機能紹介

一定の条件でフォントの色や太字等に変更する場合、「条件付き書式」の機能を用いて設定する事ができます。例えば、以下の様に点数が700点以上の人は合格なので、赤字にして目立たせたい、という場合に利用できる機能になります。

受験番号	受験科目	点数
A01	Word	500
A02	Word	780

今回は数式を用いた、条件付き書式の設定についてご紹介します。

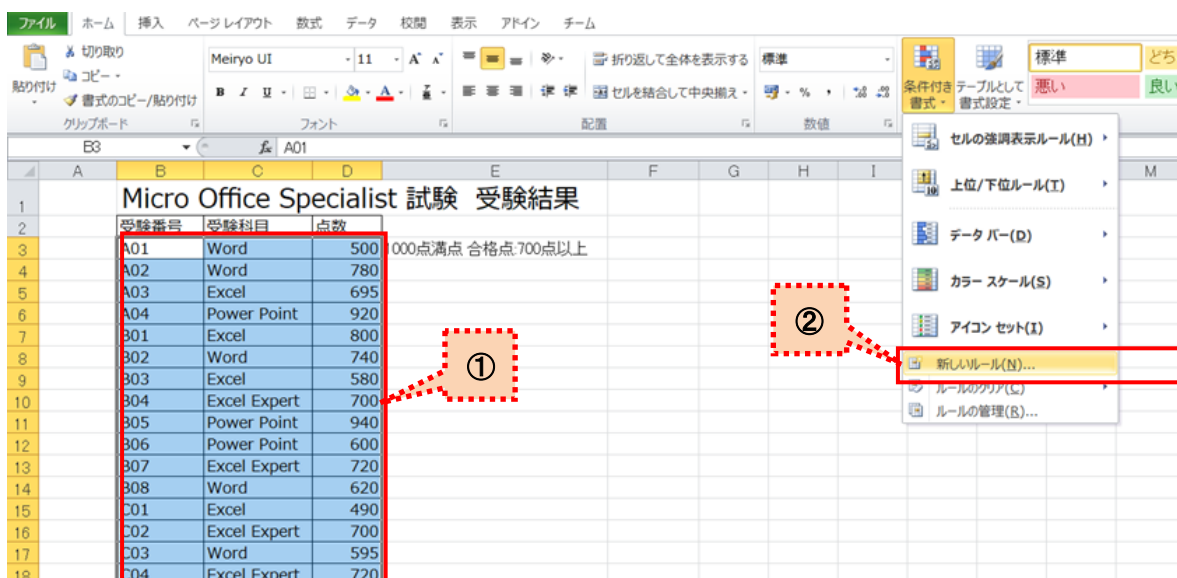
### ■ 操作方法

以下表で合格点700点以上だった場合、その行を赤色に変更します。

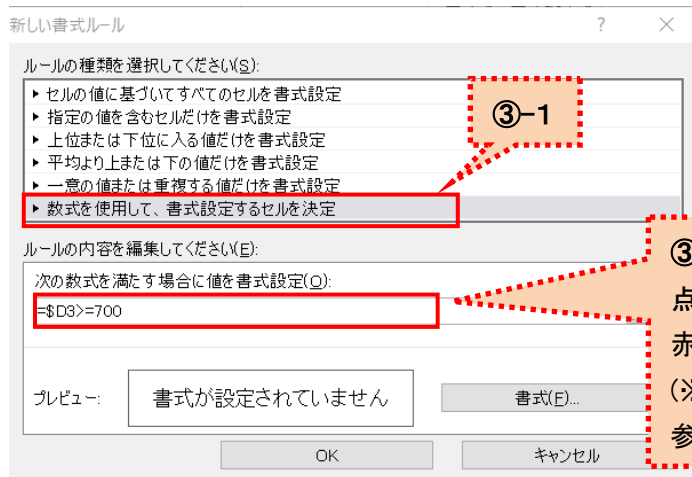
### Micro Office Specialist 試験 受験結果

受験番号	受験科目	点数	
A01	Word	500	1000点満点 合格点:700点以上
A02	Word	780	
A03	Excel	695	
A04	Power Point	920	
B01	Excel	800	
B02	Word	740	
B03	Excel	580	
B04	Excel Expert	700	
B05	Power Point	940	
B06	Power Point	600	

- ① 対象の範囲を選択します。
- ② メニュータブ「ホーム」⇒「条件付き書式」⇒「新しいルール」をクリックします。



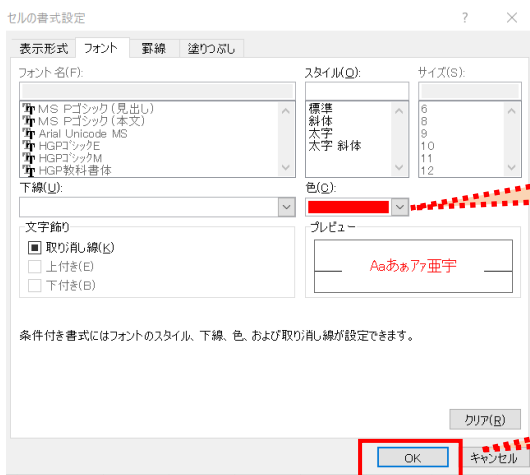
- ③ 「新しい書式ルール」のダイアログボックスが開かれるので、新しいルールを設定を行います。  
今回は 700 点以上の列を赤色にしたいので、「数式を使用して、書式設定をするセルを決定」をクリックします。



③-1

③-2  
点数の列が 700 点以上だった場合  
赤に設定しますので、「**=D3>=700**」と入力します。  
(※「\$」を D の前に入力する事で、常に点数の列を参照します。)

- ④ 続いてダイアログボックスの右下の「書式」から、書式を設定後、「OK」をクリックします。



④-1 赤色に設定します。

④-2

- ⑤ 700 点以上の行が赤色のフォントに設定されました！

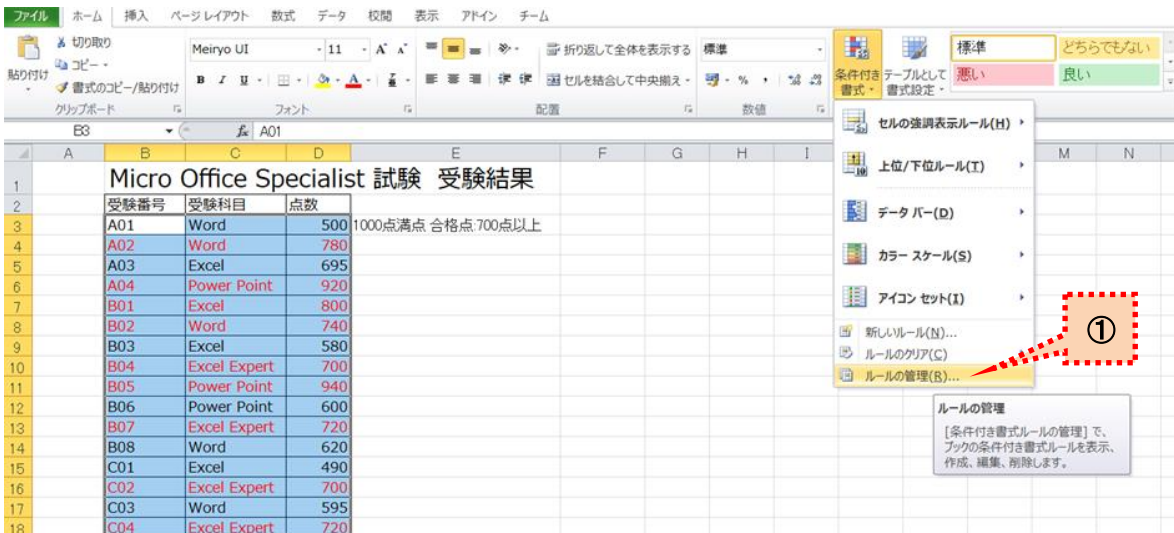
Micro Office Specialist 試験 受験結果

受験番号	受験科目	点数	
A01	Word	500	1000点満点 合格点:700点以上
A02	Word	780	
A03	Excel	695	
A04	Power Point	920	
B01	Excel	800	
B02	Word	740	
B03	Excel	580	
B04	Excel Expert	700	
B05	Power Point	940	
B06	Power Point	600	
B07	Excel Expert	720	
B08	Word	620	
C01	Excel	490	
C02	Excel Expert	700	
C03	Word	595	
C04	Excel Expert	720	

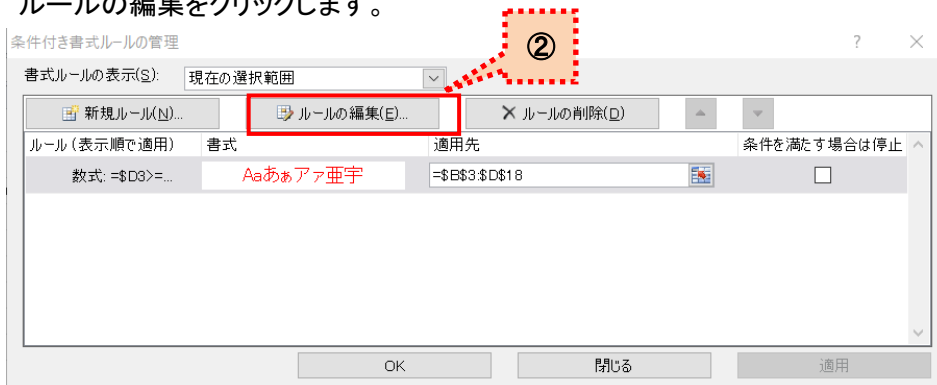
⑤

## <書式設定の条件を変更したい場合>

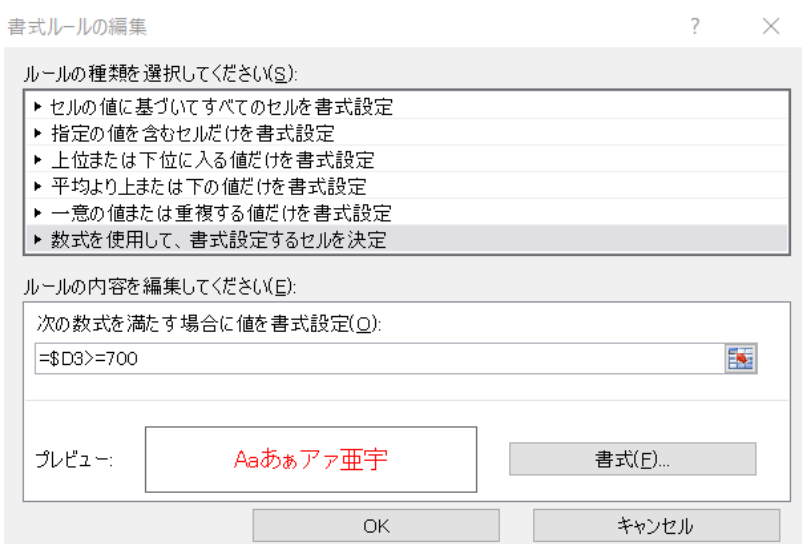
- ① ルールが適用されている範囲を選択した状態で、「条件付き書式」⇒「ルールの管理」をクリックします。



- ② ルールの編集をクリックします。



- ③ 「書式ルールの編集」画面が表示されますので、内容を変更します。



ルールを設定して、条件に合った行の書式を一括で変更する方法についてご紹介しました。用途に合わせて、ぜひ活用してみてください。